

昭和八年十一月ヨリ一ヶ年間ニ於ケル労働争議ハ京都金属ノ四件一三六名、京都合同二件三〇名、友仙工組合四件一〇二名、其他二件一三〇名、計三百六十八名件數ニテ十二件ニシテ、オビタシク罷業ノ減少ハ昨年度大會ニ決定セル労働組合主義ノ徹底並ビニ産業協力ニ依ル平和的工作ノ強化ニ基クトラ意味シテキルノデアル。

團体協約運動ハ總同盟ノ指導的ナ精神ニテ金屬ニ二個、友仙ニ六個ノ協約ヲ結ンデキルノデアルガ、コノ運動コソ總同盟ノ中心的ナ組合行政ノ一ツデアルガ、コレガ完全ナル運用ニ至ツテハ組合員ノ教育ニ最モ重點ヲソソグベキデアルト思ウ。

我ガ總同盟ハ健全ナル労働組合主義ノ當然ノ任務トシテ各般ニ亘ル共濟相互扶助的施設ノ完備、教育運動ノ擴充ヲ計ツテキルノデアルガ不幸ニシテ京聯今日ノ狀態ニテハ未だソノイヅレモ完成サレズ深ク反省ヲ要ス、惟ワニ京都地方ニ於ケル我等ノ戰ヒニ陣營ハ正ニ關東地方ニオクレル事十年眞實ノ労働組合トシテノ職能ヲ完カラシメデアル。

財團法人協調會大阪支所

テキナイ事ヲ更ニ痛感セザルヲ得ナイノデアリマス

我等ハ大產業ヲ國營化ノタメノ闘爭手段トシテ分配ノ不公正ヲ匡シ中小工業ノ無統制ヲ打破シテコレガ勞資ノ協力ニ依ル產業發展ヘノ貢獻トシテ二月京都ニ於イテ初メテノ友仙事業主ヲ招待シテ關係府市各課長列席ノ下ニ勞資懇談會ヲ開催シテ極メテ好成績ヲ收メタノデアル

工場法健保法脫法行爲ハ資本家ノ無節操ニ依ル労働者偽瞞ノ發露ニテ特ニコレガ摘發ニ關シテ力ヲ加ヘ多クノ違反工場ヲシテ恐怖センメ工場課ニ抗議シタノデアル

組合事務遂行ニ當ツテハ貳拾貳回ノ執行委員會ト九回ノ聯合會委員會ヲ開催シタ、會計事務ニ至ツテハ全國事務會議ノ決定ニ從ヒ各支部ヨリ順次改良シタガ會費納入成績ハ逐年良好ニナリツツアルモ全體ノ四割ハ未ダ未納狀態ニアリ特ニ労働組合主義ノ確立ハ會計制度ノ充實カラト云ハレテキル如ク本年度大會ニ於イテ選出サレタ新執